

製品名: POLR3B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16359**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 128kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | POLR3B |
| 別名 | POLR3B; DNA-directed RNA polymerase III subunit RPC2; RNA polymerase III subunit C2; C128; DNA-directed RNA polymerase III 127.6 kDa polypeptide; DNA-directed RNA polymerase III subunit B |
| 遺伝子 ID | 55703.0 |
| SwissProt ID | Q9NW08 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト POLR3B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370 |

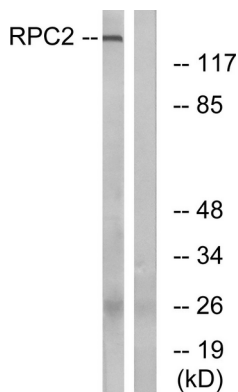
背景

この遺伝子は、真核生物において転移 RNA および小型リボソーム RNA の合成を担う RNA ポリメラーゼ III の 2 番目に大きいサブユニットをコードしています。この最大サブユニットとコードされているタンパク質は、RNA ポリメラーゼ III の触媒中心を形成します。この遺伝子の変異は、低髄鞘形成性白質ジストロフィーの原因となります。この遺伝子については、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011 年 12 月]触媒活性: ヌクレオシド三リン酸 + RNA(n) = ニリン酸 + RNA(n+1).機能: DNA 依存性 RNA ポリメラーゼは、4 つのリボヌクレオシド三リン酸を基質として DNA から RNA への転写を触媒します。5S rRNA や tRNA などの小型 RNA を合成する RNA ポリメラーゼ III の 2 番目に大きいコア成分です。ポリメラーゼの触媒活性に寄与すると提唱されており、最大サブユニットと共にポリメラーゼ活性中心を形成する。Pol III は可動性エレメントで構成され、RPC2 は中央の大きな溝を持つコアエレメントの一部であり、おそらくは溝を開閉するために移動するクランプエレメントである。類似性: RNA ポリメラーゼ β 鎖ファミリーに属する。サブユニット: 17 個のサブユニットからなる RNA ポリメラーゼ III (Pol III) 複合体の構成要素。

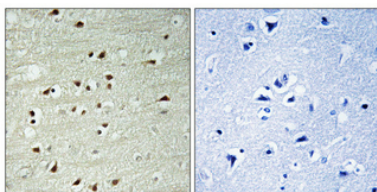
研究分野

プリン代謝、ピリミジン代謝、RNA ポリメラーゼ、細胞質 DNA 感知経路

画像データ



RPC2 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。